



堅川中だより

第2号

令和5年5月2日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 織部 明広

元気・やる気→ 主体的な取組→根気→【自律】

校長 織部 明広

学校が始まって早くも一か月が経とうとしています。143名の1年生は、少しずつ学校に慣れて、楽しく学校生活を送っている様子が見えます。徐々に従来の生活に戻りつつある今、2・3年生も昨年より一層充実している様子が見えます。令和5年度が良い状況でスタートできたことは嬉しく思います。

さて、5月1日（月）の朝礼で「**元気 やる気 根気**」の話をしました。このことは、全てのもの事にあてはまることです。**元気**の源は、食事（3度の食事）と睡眠（7～8時間）を取ること。**やる気**は、やることを決め目標をもつこと。**根気**は、強い意志をもつことと自分を取り巻く人（先生・仲間・家族）の支援です。

そこで1年生には、この4月から始めている「家庭学習ノート」について触れます。「家庭学習ノート」は、学校全体の取組です。最初は、取組があるから勉強するでもいいですが、「やらされていること」は、長続きしません。「自分のためにやる」そのためには、「内容を工夫したり、時間をうまく使ったりすること」で主体的な取組となり、根気に繋がっていきます。

今月の表題に掲げた「主体的な自律」の「律」の部分をよく見てください。自立ではありません。自立は自分でいろいろなことができるようになること、自律することは自分でルールを決めて、そのとおりに実行することです。自立よりも自律の方がより高い目標を目指すことになります。

家庭学習ノートは、主体的な自律ができているかの物差しになります。提出率の良いクラスほど活気や意欲があるクラスと言えるでしょう。4月の段階で、すでにくじけてしまっている人はいませんか。くじけてしまった人は、まだ遅くはありません。今日からでも再スタートを切ってください。また、週末に、必ず保護者にコメントをもらってください。やっていることを認めてもらいましょう。また、毎日やれていなくとも、できていないことをごまかさずに、やったところまで認めてもらいましょう。そして、保護者の方による激励の言葉を継続の力としてください。

さて、卒業生が「学校は夢をかなえる道場である」と話したことに、こんなことを書いてくれていました。○「学校は夢をかなえる道場であるとしたら、夢を叶えるには、学校でいろんなことを学ばなければならないし、いろんな体験もしなければいけないと思います。」○「道は自分で創ったり、選択したりするものです。親に『やれ』と言われてからやるみたいな、つまらない人生は歩みたくないです。だから、もっと努力したいと思います。」○「好きなことをやりたいし、夢を叶えたいです。そのためには、夢を叶える力や知識を身に付けます。」○「これからは『時間を大切に』と『やろうと思ったことはすぐやる』この二つをきちんと守って生活したいと思います。」現3年生の諸君、先輩の言葉やら、『夢を叶える』ために、今やれることを自分なりに考え、決めたことを実行してってください。

【1学年】 覚えることも学ぶことも

入学式から2週間が経ち、中学校生活にも少しずつ慣れてきました。新しい友達もできました。学校のルールも少しずつ理解してきました。部活動体験にもたくさん行き、入りたい部活動について考えました。覚えることも、学ぶこともたくさんあるけどひとつひとつ身につけています。慣れない内は、間違えることも失敗することもあります。その都度確認して、その都度理解して、反省して、今後繰り返さなければ良いのです。

1年生のみんなは、よく頑張っています。でも、緊張の糸は、張りつめたままだと突然プツリと切れてしまうもの。リラックスする時間と気持ちを引き締める時間・場所などを作り、苦しくならないようにしていきましょう。



【2学年】 「2年生の心構え」 (生徒作文より)

◎ 私は1年生の時は色々なことから逃げていました。それは二つあって、一つは勉強から逃げていたということです。特に、小さいころから数学が苦手で、中学になるとますます難しくなり、テスト期間中しか勉強しませんでした。でも、2年生になって、3年生が近づいてきました。多分ほとんどの人が“受験”を考えているだろうと思います。私は今、行きたい高校があります。でもレベルが高く、母にも「別の高校選べば？」と言われたときがありました。でも、私は一度選んだことは、絶対にやるタイプなので、私は行きたい高校に行こうと思います。これからは、授業中先生の話ちゃんと聞き、先生に質問したりしようと思います。今年は勉強に意識をもとうと思います。もう一つは、何かに挑戦する、行動することに対してネガティブな考えになってしまうということです。結局挑戦しない、行動できないまま終わってしまいました。しかし、やってみなければ、失敗したり、成功することもできません。だから、私は今年何かに挑戦しようと思います。



【3学年】 家庭学習がんばっています

3年生となり、家庭学習帳の提出率が格段とUPしています。内容に関しても3年生にふさわしいものをとということで生徒には話をしています。

具体的には、

- ①受験勉強にやくだつもの
 - ②資格試験のためになるもの
 - ③興味や関心があり、自分の将来に役立てるもの
- をしっかりとやって提出させています。

また、お忙しいとは思いますが、週末にお子様の一週間分の家庭学習を見ていただき、どのくらい頑張っているのか、どんなことをやっているのかを把握していただきたいとともに、子どもたちの励みになるような一言を書きいただけたら幸いです。

なお、今年度3学年では受験対策といたしまして、家庭学習のチェックを少しだけ厳しくしています。せっかくやる勉強です。自分にとって有意義な、意味のある学習にしてほしいという思いからです。また、勉強に向かう「体力」も必須です。

ご家庭でも充実した家庭学習になるようお声かけください。



【5組】 「3年生になって」（生徒作文より）

これから3年生になってがんばりたいことを書きます。

1つ目は受検です。入学試験に合格するために、漢字や数学、作文を頑張りたいです。漢字は毎日家庭学習帳をやって、3百個覚えます。そして漢字検定七級に合格したいです。数学は方程式を解けるようになりたいです。作文は書くときに悩みながら書いているので、家で練習して早く書けるようになりたいです。

2つ目は、運動です。合同球技大会で次こそはバスケットボールで優勝したいです。都陸上大会では、4百メートル走で2位になれるように頑張ります。

3つ目は友達をつくることです。

自分から話しかけてみんなと友達になりたいです。

これで3年生になって頑張りたいことを終わります。



【食育】 「エッグショック」にチャンスを見出す

卵の品薄が続いています。業界では「エッグショック」と呼ばれているようです。価格も高く購入制限がかけられているため、我が家は使う量を節約気味です。同様の家庭もあるのではないのでしょうか。

給食ではスーパーなどの小売りとは販売ルートが違うので、買おうと思えば品薄な卵も買うことはできますが、無理に購入はせずに従来 of 半分ぐらいにしています。理由はいくつかあります。

区で示している使用基準量があるからと従来通り購入すると社会全体の卵不足に拍車をかけることになりかねません。流通量が少ないときに無理をしないことは持続可能な取組のひとつと考えています。さらに生徒の皆さんには、日々食べている給食から時事問題や社会の動きを感じ取ってもらいたいと思います。また、卵は栄養面では代替が容易な食品です。卵を減らしても肉や魚や野菜などをとれば栄養は十分充足します。

「エッグショック」は1年ほど続くのではないかとされています。早く平常に戻ることを願いつつ、このピンチをチャンスに変えて学びにつながる給食にしていきたいと思います。

【5月の予定】

1	月	朝礼、生徒総会リハーサル
2	火	生徒総会
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
8	月	朝礼、定例・代表委員会、尿検二次、④運動会学年練習(3)
10	水	開校記念日、職員会議、③運動会学年練習(1)
12	金	④運動会学年練習(2)
13	土	土曜授業、第1回進路説明会(3)、③避難訓練(引き取り訓練)
15	月	生徒朝礼、PTA総会、⑥運動会全校練習
16	火	二者面談始(1)、歯科検診1日目
17	水	幼保小中一貫教育協議会、③④運動会学年練習(3)、部活再登校
18	木	心臓検診、②③運動会学年練習(1)、⑤⑥運動会学年練習(2)
19	金	⑤運動会学年練習(3)
22	月	朝礼、教育実習始、③④運動会学年練習(3)
23	火	二者面談終(1)、歯科検診2日目、①②運動会学年練習(2)、運動会全校練習
24	水	②③運動会学年練習(1)
26	金	運動会準備、部活再登校
27	土	運動会
29	月	振替休業日
30	火	朝礼、運動会予備日、安全指導

※ () 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例(5) : 5組

